

平成30年度 行政評価の取組結果(技術監理局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)				H30年度		H29年度	人件費 (目安)		H30年度				R2年度予算要求に向けた 施策の方向性					
					指標名等	現状値 (基準値)	H29年度	H30年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由		局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
I-2-(3)- ② 技術・技能を継承する人材の育成	1	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度 (イベント参加者アンケートによる) ※中期目標改訂 (R1年度目標設定時)	97% (H27年度)	目標 75 %	実績 89 %	75 %	88 %	80%以上 (R1年度以降毎年度)	2,074	1,492	1,924	5,400	課長 0.10 人	係長 0.20 人	職員 0.30 人	順調	イベント参加者に対するアンケート調査を行った結果、建設業のしごと (まちづくり) に興味を持った方の割合が88%であったため、「順調」と判断。 (参加前48%→参加後88%)	順調	【評価理由】 建設業に対する関心度は目標を上回り、建設業の人材確保・育成に貢献できたため、「順調」と判断。 【課題】 将来にわたって建設業の人材確保・育成を行うには、一過性のものでなく、継続的で地道なイメージアップの取組みが不可欠である。	イベント等を通じた、建設業の魅力を発信する地道な広報活動が必要であり、令和2年度も継続して実施する。
Ⅲ-3-(3)- ③ 企業の地域活動への参画促進	2	【施策評価のみ】競争入札参加資格業者に対する加点制度	契約制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事における競争入札参加資格において、地元企業の地域での社会貢献活動 (子育て支援、男女共同参画、障害者雇用、環境配慮、防災活動など) を評価し、格付けの際に加点することにより、契約制度の面からも本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給契約入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合 【施策の指標】 本市の建設工事入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合 ※中期目標改訂 (R1年度目標設定時)	27% (H28年度)	目標 前年度 (27%) 並み	実績 27 %	前年度 並み	29 %	28% (R2年度)	-	-	-	-	課長 - 人	係長 - 人	職員 - 人	順調	-	【評価理由】 建設工事入札参加資格業者については、目標をやや下回るものの、物品等供給等契約入札参加資格業者については目標を上回っており「順調」と判断。	引き続き加点制度を実施する。	
V-3-(1)- ① 都市基盤・施設の適正な整備	3	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする公共工事パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	24件 (H26年度)	目標 14 件以下	実績 30 件	14 件以下	21 件	14件以下 (R1年度)	1,027	809	870	26,150	課長 0.10 人	係長 1.00 人	職員 2.00 人	やや遅れ	安全パトロールの実施件数を目標であった600件から800件以上と大幅に増やし、現場における安全指導、指摘を積極的に行っている。 市発注工事における事故件数は、昨年度に比べ3割減と大幅に改善したものの、目標であった14件よりも多く発生したため「やや遅れ」と判断。	やや遅れ	【評価理由】 市発注工事の事故が目標よりも多く発生したため、「やや遅れ」と判断。 【課題】 建設工事従事者の「確認不足」や「作業手順の省略」などが事故の主な原因であり、工事に従事する一人ひとりの安全意識の向上が課題である。	公共工事における重大事故の発生を抑制し、市民と建設工事従事者の安全と健康を確保するため、引き続き現場を監督する工事担当課への安全教育を強化して、事故抑制に努める。
VI-3-(3)- ② 建設リサイクルの推進	4	【施策評価のみ】建設リサイクルの推進	技術支援課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	99.9% (H28年度)	目標 98.0 %	実績 99.9 %	98.0 %	99.9 %	98.0% (R1年度)	-	-	-	-	課長 - 人	係長 - 人	職員 - 人	順調	-	【評価理由】 前年度に引き続き平成30年度も目標を達成したため、「順調」と判断。	前年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。	